

教師用指導案「東京 1964 大会のレガシー」

- 対象： 小学校中高学年
- 本時のねらい： 東京 1964 大会が日本に残したものについて理解する。
- 準備物： [東京 2020 組織委員会ウェブサイト](#)
オリンピック・パラリンピック学習読本小学校編
- 適用可能な学習時間： 総合的な学習の時間、学級活動、社会科 等

時間	学習活動	指導上の留意点	参照資料等
導入 (5分)	1) 本時の見通しを持つ 【発問】東京 1964 大会の開催により、日本の社会はどのように変わったでしょうか。	東京 1964 大会は、多くの人々にどのような影響を与えたのかについて学ぶことを理解させる。	
展開 (15分)	2) 東京 1964 大会をめざして、日本の高い技術力で次のものが作られた。 ・新幹線・東京モノレール ・首都高速道路 ・旧国立霞ヶ丘陸上競技場 ・駒沢オリンピック公園 総合運動場 ・日本武道館	こうしたものが、その後の日本の発展に関係し、日本の社会を変えたことを理解させる。	オリンピック・パラリンピック学習読本 小学校編 p.44-47
(10分)	3) 競技ではどのような種目で日本の選手が活躍したか、調べてみよう。	ウエイトリフティング、レスリング、柔道やバレーボールなどで日本選手が活躍したことを学ぶ。	
(10分)	4) オリンピックの後に開かれたパラリンピックはどのようなレガシーが作られたか学習読本を通して考えよう。	スポーツが障がいのある人の社会復帰に大きな役割を果たすことに気づいたこと。障がい者のためのスポーツ大会が開催されるようになったことに触れる。	
まとめ (5分)	東京 1964 大会は、その後のスポーツや日本の社会を発展させたことを理解する。	東京 2020 大会も日本の社会に大きな影響を及ぼすであろうことを考えさせる。	